

Wolfgang Amadeus
MOZART
フィガロの結婚

国立音楽院
オペラ実習公演

抜粋版

2023年3月4日(土) 14時開演 国立音楽院パラダイスホール

指揮：由比 昌子(指導講師)
伴奏：中村 明子(伴奏助手)
演出：國分 雅人(指導講師) 有銘 哲也(指導講師)

伯爵：椎井 一貴(第1, 2幕) 有銘 哲也(第4幕)
伯爵夫人：遠藤 佳菜(第2, 3幕) 森川 絵美菜(第4幕)
スザンナ：中村 桃子(第1幕) 森川 絵美菜(第2幕)
山口 志歩(第3幕) 三ツ木 麗(第4幕)
フィガロ：飯塚 仁
ケルビーノ：勝浦 奈津子
マルチェリーナ：成島 花梨
バジリーオ：田中 冴門

18世紀スペイン、セヴィリヤのアルマヴィーヴァ伯爵の館。伯爵の従者フィガロと、同じく伯爵夫人の侍女スザンナの結婚式当日のお話。

伯爵は、古い封建的な特権(領地の婚礼を控えた女性に関する権利=初夜権)を一旦は廃止したものの、侍女スザンナが気に入って、手先の音楽教師バジリーオを使ってスザンナを誘惑しようとしています。そのことを知ったフィガロは怒り、伯爵を妨害しようと考えます。その作戦は、伯爵に仕える少年ケルビーノにスザンナの服を着せて、伯爵がスザンナと夜こっそり会おうとしたときに、代わりにケルビーノを差し向けて懲らしめるというもの。しかし、伯爵夫人の協力のもとスザンナが少年ケルビーノに女装をさせていると、伯爵が現れて大混乱となり、フィガロの作戦は失敗します。

見かねた伯爵夫人は、今度は自分がスザンナの服を着て密会の現場に行こうと決心し、スザンナに手紙を書かせ伯爵に届けさせます。

その夜の屋敷の裏庭。スザンナと秘かに会えるのを楽しみにやって来た伯爵は、スザンナの服を着た伯爵夫人をスザンナと思い込み、甘い言葉をささやきます。これで証拠は押さえられました。しかし、その様子を見ていたフィガロは、伯爵夫人の作戦を知らなかったためにスザンナが浮気をしていると思ってしまうのです。

さて、スザンナとフィガロはどうなることでしょうか。また、伯爵夫人は伯爵を許すのでしょうか.....